



2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東
 コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 年真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	88,916	8.5	8,915	33.9	9,788	32.6	6,847	41.1	6,752	42.3	8,245	43.8
2018年3月期第2四半期	81,925	9.1	6,656	12.7	7,380	128.6	4,851	104.3	4,746	130.5	5,734	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	134.54	—
2018年3月期第2四半期	94.57	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	
2019年3月期第2四半期	175,289	125,925	124,336	70.9	2,477.42
2018年3月期	170,302	118,900	117,311	68.9	2,337.43

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2019年3月期	—	23.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	183,000	5.7	17,000	21.0	17,800	26.4	12,800	29.0	12,600	30.0	円 銭 251.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2018年10月31日）公表いたしました「第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	52,644,030株	2018年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,455,945株	2018年3月期	2,455,841株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	50,188,124株	2018年3月期2Q	50,188,221株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2018年11月13日に第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は88,916百万円（前年同期比8.5%増）となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり8,915百万円（前年同期比33.9%増）となりました。税引前四半期利益は9,788百万円（前年同期比32.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は6,752百万円（前年同期比42.3%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(二輪車用クラッチ)

インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は42,140百万円（前年同期比6.1%増）となりました。営業利益は、インドネシアの増収効果もあり5,817百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

(四輪車用クラッチ)

米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は46,776百万円（前年同期比10.8%増）となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり3,097百万円（前年同期比119.0%増）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

(日本)

二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は12,396百万円（前年同期比10.6%増）となりました。営業利益は、原価低減等の効果もあり1,264百万円（前年同期比75.5%増）となりました。

(米国)

フォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は32,553百万円（前年同期比14.9%増）となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり2,203百万円（前年同期比252.3%増）となりました。

(アジア)

中国の長安フォード向けの四輪車用クラッチの販売が減少したものの、インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は40,974百万円（前年同期比2.3%増）となりました。営業利益は、インドネシアの増収効果もあり4,986百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

(その他)

メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は2,992百万円（前年同期比27.4%増）となりました。営業利益は、メキシコの収益性改善等もあり25百万円（前年同期は383百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は80,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,222百万円増加しました。これは主に棚卸資産が1,655百万円、現金及び現金同等物が1,442百万円増加したことによるものであります。

(非流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の非流動資産は95,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,764百万円増加しました。これは主に有形固定資産が1,690百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は38,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,747百万円減少しました。これは主に営業債務及びその他の債務が1,793百万円、借入金1,293百万円減少したことによるものであります。

(非流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の非流動負債は10,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ708百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が762百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本は125,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,024百万円増加しました。これは主に利益剰余金が5,685百万円、その他の資本の構成要素が1,340百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は26,673百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10,317百万円となりました。これは主に税引前四半期利益9,788百万円、減価償却費及び償却費5,974百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5,896百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6,066百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3,326百万円となりました。これは主に短期借入金の純増減額2,077百万円、配当金の支払額1,054百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月27日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2018年10月31日）公表いたしました「第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	25,230	26,673
営業債権及びその他の債権	28,855	29,101
その他の金融資産	2,339	1,905
棚卸資産	18,428	20,084
その他の流動資産	2,038	2,349
流動資産合計	76,892	80,114
非流動資産		
有形固定資産	72,942	74,633
のれん及び無形資産	4,396	4,631
持分法で会計処理されている投資	117	104
その他の金融資産	12,561	12,423
繰延税金資産	2,734	2,756
その他の非流動資産	657	625
非流動資産合計	93,410	95,174
資産合計	170,302	175,289

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16,044	14,251
借入金	16,179	14,886
その他の金融負債	128	142
未払法人所得税	2,784	2,842
その他の流動負債	6,006	6,273
流動負債合計	41,143	38,395
非流動負債		
借入金	365	85
その他の金融負債	448	654
退職給付に係る負債	2,027	2,050
引当金	33	33
繰延税金負債	7,086	7,849
その他の非流動負債	297	295
非流動負債合計	10,258	10,967
負債合計	51,402	49,363
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	112,828	118,513
自己株式	△3,409	△3,409
その他の資本の構成要素	3,716	5,056
親会社の所有者に帰属する持分合計	117,311	124,336
非支配持分	1,589	1,588
資本合計	118,900	125,925
負債及び資本合計	170,302	175,289

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上収益	81,925	88,916
売上原価	△68,185	△72,783
売上総利益	13,739	16,132
販売費及び一般管理費	△7,330	△7,652
その他の収益	406	564
その他の費用	△159	△129
営業利益	6,656	8,915
金融収益	835	1,179
金融費用	△106	△299
持分法による投資損益	△4	△6
税引前四半期利益	7,380	9,788
法人所得税費用	△2,528	△2,940
四半期利益	4,851	6,847
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,746	6,752
非支配持分	105	95
四半期利益	4,851	6,847
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	94.57	134.54
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	4,851	6,847
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△0	△9
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動	—	△94
計	△0	△103
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の変動	278	—
在外営業活動体の換算差額	614	1,511
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△10	△10
計	882	1,501
その他の包括利益合計	882	1,397
四半期包括利益	5,734	8,245
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,628	8,116
非支配持分	105	128
四半期包括利益	5,734	8,245

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	売却可能金融資産の公正価値の変動
				百万円	百万円
2017年4月1日時点の残高	4,175	104,908	△3,409	1,792	4,156
会計方針の変更	—	—	—	—	—
修正再表示後の残高	—	—	—	—	—
四半期利益	—	4,746	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	604	278
四半期包括利益合計	—	4,746	—	604	278
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	△1,003	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素からの振替	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,003	—	—	—
2017年9月30日時点の残高	4,175	108,651	△3,409	2,396	4,434

親会社の所有者に帰属する持分

その他の資本の構成要素

	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動		確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円					
	百万円	百万円					
2017年4月1日時点の残高	—	—	5,949	111,624	1,530	113,155	
会計方針の変更	—	—	—	—	—	—	
修正再表示後の残高	—	—	—	—	—	—	
四半期利益	—	—	—	4,746	105	4,851	
その他の包括利益	—	△0	881	881	0	882	
四半期包括利益合計	—	△0	881	5,628	105	5,734	
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	
配当金	—	—	—	△1,003	△131	△1,135	
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—	
その他の資本の構成要素からの振替	—	0	0	—	—	—	
所有者との取引額合計	—	0	0	△1,003	△131	△1,135	
2017年9月30日時点の残高	—	—	6,831	116,249	1,504	117,753	

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の 換算差額	売却可能金融資産の 公正価値の変動
				百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	4,175	112,828	△3,409	△1,156	4,872
会計方針の変更	—	△37	—	—	△4,872
修正再表示後の残高	4,175	112,791	△3,409	△1,156	—
四半期利益	—	6,752	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	1,464	—
四半期包括利益合計	—	6,752	—	1,464	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	△1,053	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	23	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,030	△0	—	—
2018年9月30日時点の残高	4,175	118,513	△3,409	307	—

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産の公正 価値の変動	確定給付制 度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	—	—	3,716	117,311	1,589	118,900
会計方針の変更	4,872	—	—	△37	—	△37
修正再表示後の残高	4,872	—	3,716	117,274	1,589	118,863
四半期利益	—	—	—	6,752	95	6,847
その他の包括利益	△90	△9	1,364	1,364	33	1,397
四半期包括利益合計	△90	△9	1,364	8,116	128	8,245
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△1,053	△129	△1,183
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	△32	9	△23	—	—	—
所有者との取引額合計	△32	9	△23	△1,054	△129	△1,183
2018年9月30日時点の残高	4,748	—	5,056	124,336	1,588	125,925

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	7,380	9,788
減価償却費及び償却費	6,606	5,974
金融収益及び金融費用	△314	△287
持分法による投資損益(△は益)	4	6
固定資産除売却損益(△は益)	1	△61
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,172	△1,763
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,259	267
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	1,031	△1,516
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	107	23
その他	58	147
小計	12,443	12,578
利息及び配当金の受取額	363	386
利息の支払額	△108	△103
法人所得税の支払額	△1,938	△2,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,759	10,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,072	△1,072
定期預金の払戻による収入	1,039	1,527
有形固定資産の取得による支出	△5,873	△6,066
有形固定資産の売却による収入	176	255
無形資産の取得による支出	△643	△530
無形資産の売却による収入	0	0
新規連結子会社の取得による支出	△791	—
貸付けによる支出	△52	△83
貸付金の回収による収入	79	97
投資の取得による支出	△17	△27
投資の売却による収入	—	44
その他	△38	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,193	△5,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,186	△2,077
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,003	△1,054
非支配株主への配当金の支払額	△131	△129
その他	△61	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,382	△3,326
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	183	1,094
現金及び現金同等物の期首残高	23,474	25,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	190	348
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,848	26,673

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第9号「金融商品」、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。IFRS第9号「金融商品」による当社グループの連結財務諸表への影響は軽微であります。なお、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、当第2四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において、売上収益が274百万円減少し、法人所得税費用が82百万円減少しております。

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、IFRS第9号「金融商品」、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメント

	報告セグメント		合計 百万円	調整額 百万円	連結 百万円
	二輪車用クラッチ 百万円	四輪車用クラッチ 百万円			
売上収益					
外部収益	39,717	42,208	81,925	—	81,925
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	39,717	42,208	81,925	—	81,925
減価償却費及び償却費	△2,357	△4,249	△6,606	—	△6,606
その他の損益	△32,118	△36,544	△68,662	—	△68,662
営業利益	5,241	1,414	6,656	—	6,656
金融収益					835
金融費用					△106
持分法による投資損益					△4
税引前四半期利益					7,380

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメント

	報告セグメント		合計 百万円	調整額 百万円	連結 百万円
	二輪車用クラッチ 百万円	四輪車用クラッチ 百万円			
売上収益					
外部収益	42,140	46,776	88,916	—	88,916
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	42,140	46,776	88,916	—	88,916
減価償却費及び償却費	△2,255	△3,719	△5,974	—	△5,974
その他の損益	△34,066	△39,959	△74,026	—	△74,026
営業利益	5,817	3,097	8,915	—	8,915
金融収益					1,179
金融費用					△299
持分法による投資損益					△6
税引前四半期利益					9,788